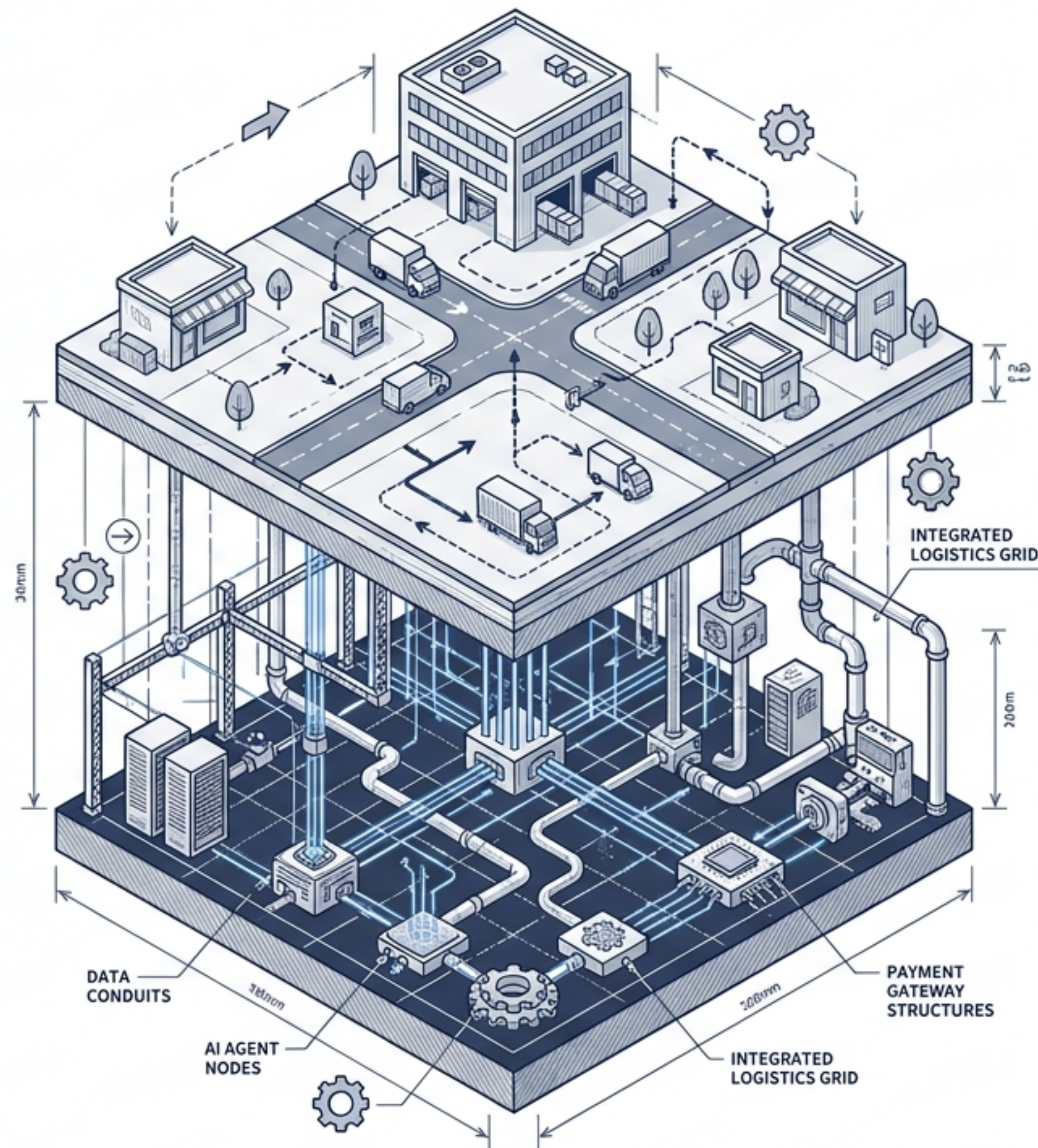
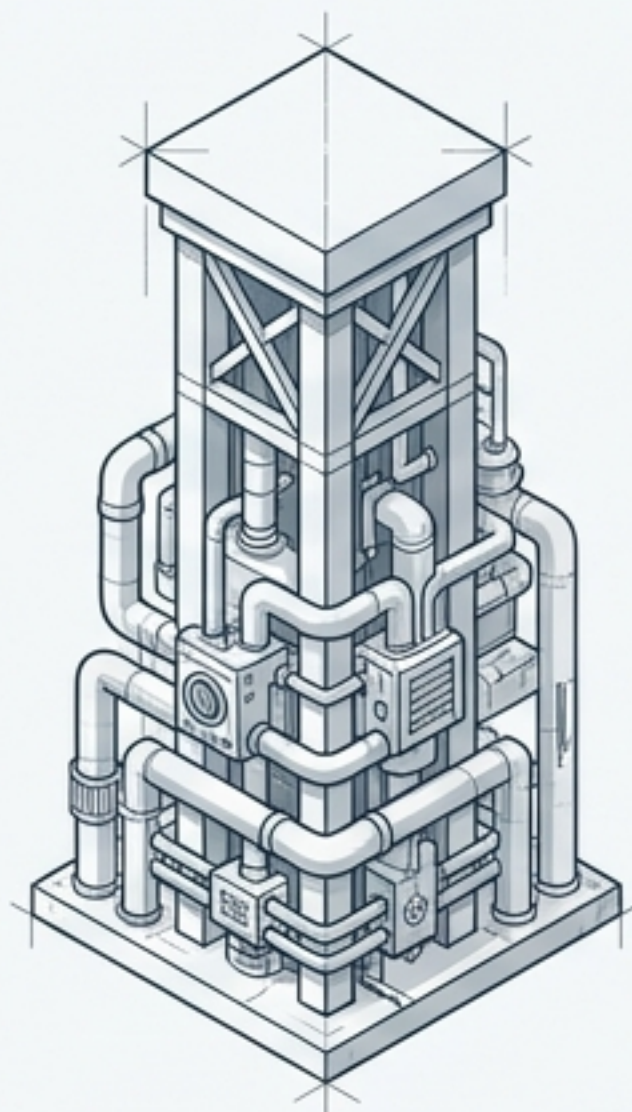


中国「AIエージェント経済」の衝撃

記事検証・日中比較・将来にわたる影響と日本の針路

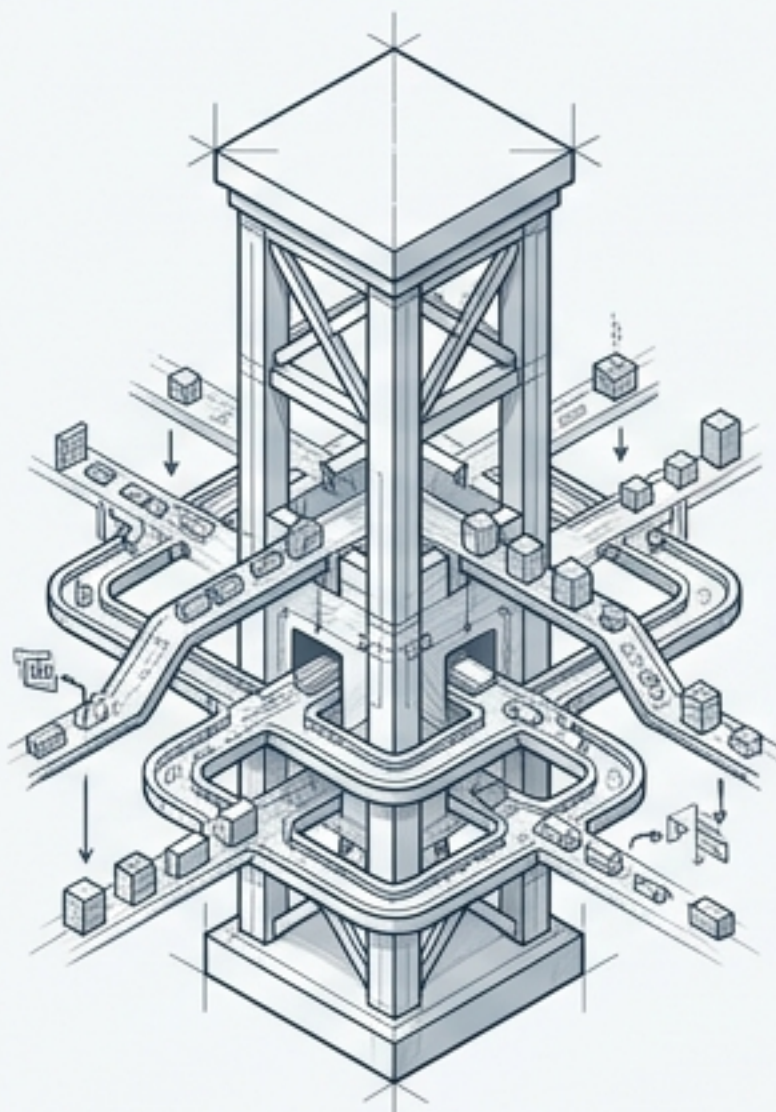


競争の軸は「AIの賢さ」から「インフラの統合度」へ移行した



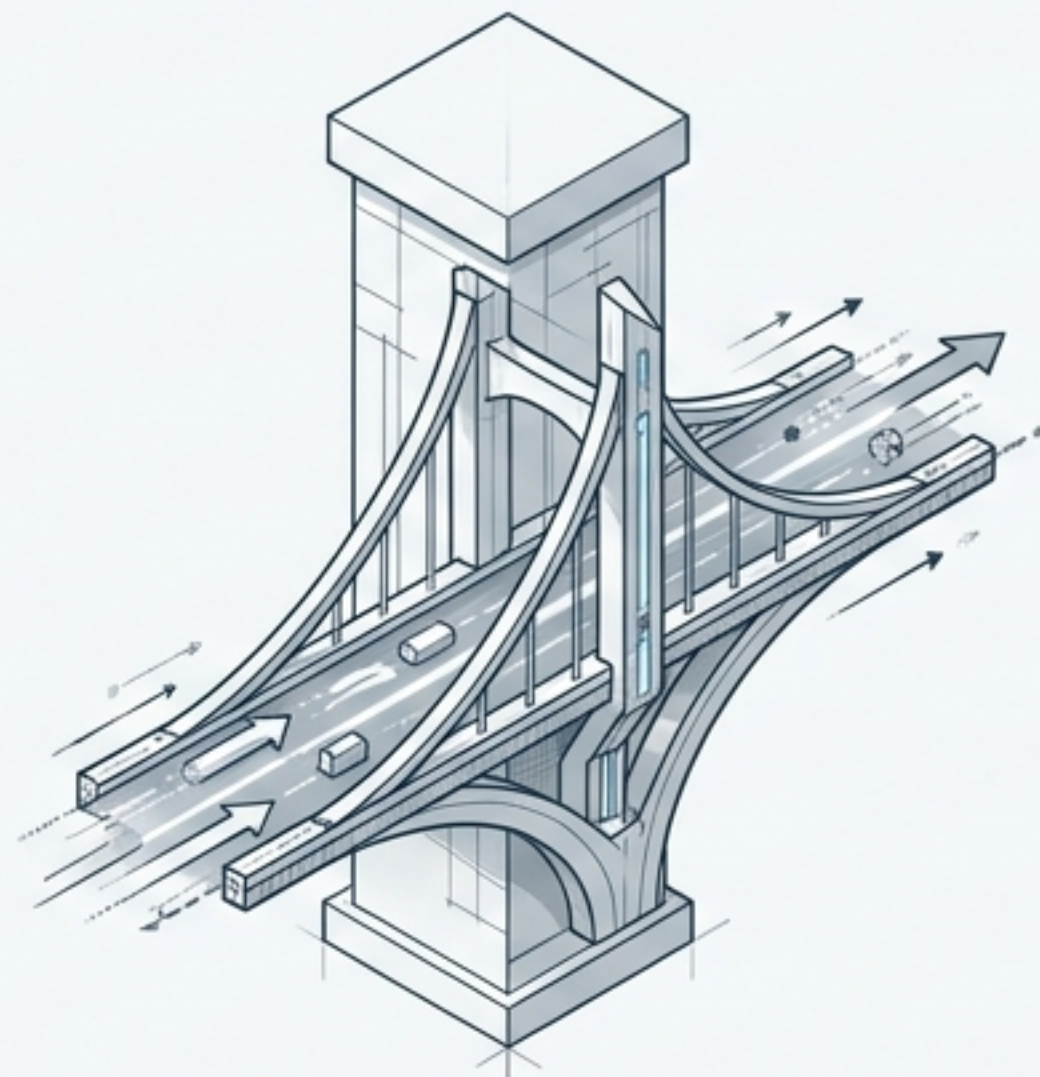
インフラ (配管)

決済・本人確認・物流が一体化した「配管」の有無が、エージェントの自律実行能力を決定づける。



競争ルール (エージェントの棚)

消費者への直接マーケティングから、AIに選ばれるための「機械可読な信頼」の構築へ競争軸がシフト。



日本の針路 (AEO)

実証実験の段階を抜け出し、知財・データ戦略を統合した「エージェントエンジン最適化 (AEO)」が急務。

中国では「委任型消費」がすでに日常のインフラとして稼働している



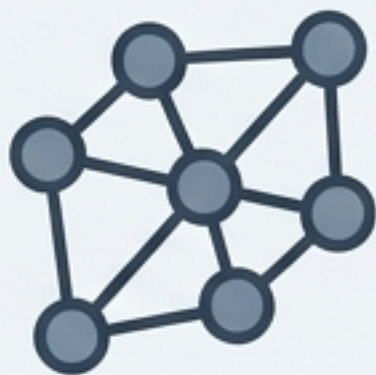
1.2億件/週

AlipayのAI決済実績
(2026年2月時点)



累計 3億件

AIエージェント決済の累計件数
(2026年5月時点)



1万超

アントグループ「Ah Bao」に対話
でアクセスできる接続サービス数

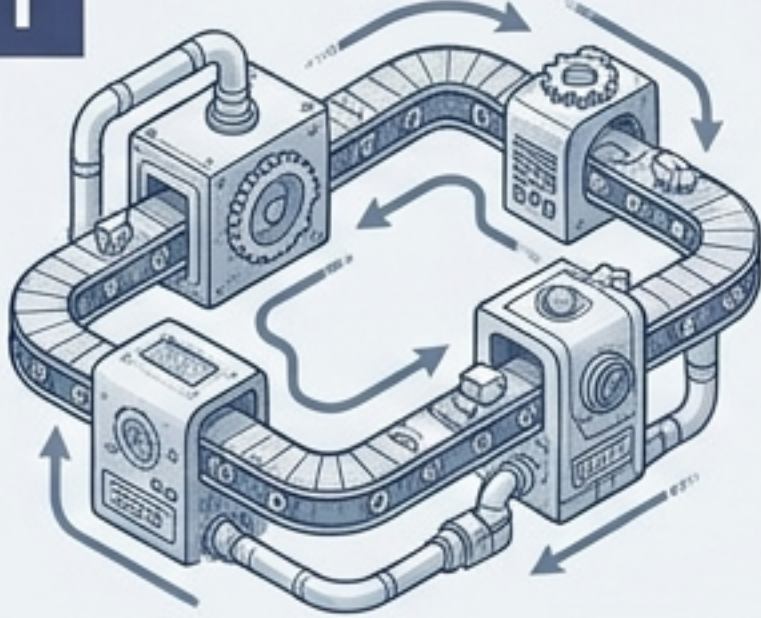


90%

中国国務院が掲げる2030年の
スマート端末・エージェント応
用普及率目標

中国市場を牽引する4つのエージェント・アーキテクチャ

1



クローズドループ実行 美团「小美」

テンセント「元宝」とエージェント間(A2A)で自動連携し、出前・配送をシームレスに呼び出す。

2



サービス横断連携 アリババ「Qwen」

アリペイ、タオバオ、高德地図を横断。商業協議「ACT」を初採用し横断的購買を確立。

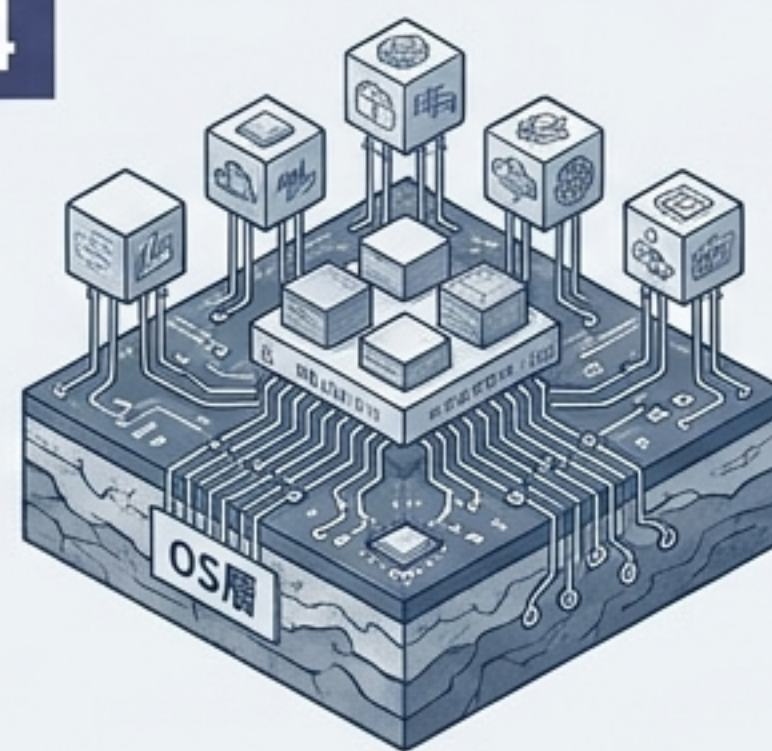
3



高リスク垂直領域 アントグループ「AQ」

医療Q&Aを起点に保険確認から病院予約まで、高リスクな判断を伴う領域を自動化。

4



OS層委任 バイトダンス「豆包」

ZTE製端末のOSレベルにAIを統合。アプリの枠を超えたハードウェア次元でのアクセス制御。

強さの真の源泉はAIモデルではなく「見えない配管」にある

授權 (Authorization)

実名確認に基づく一度の権限付与。

履行 (Fulfillment)

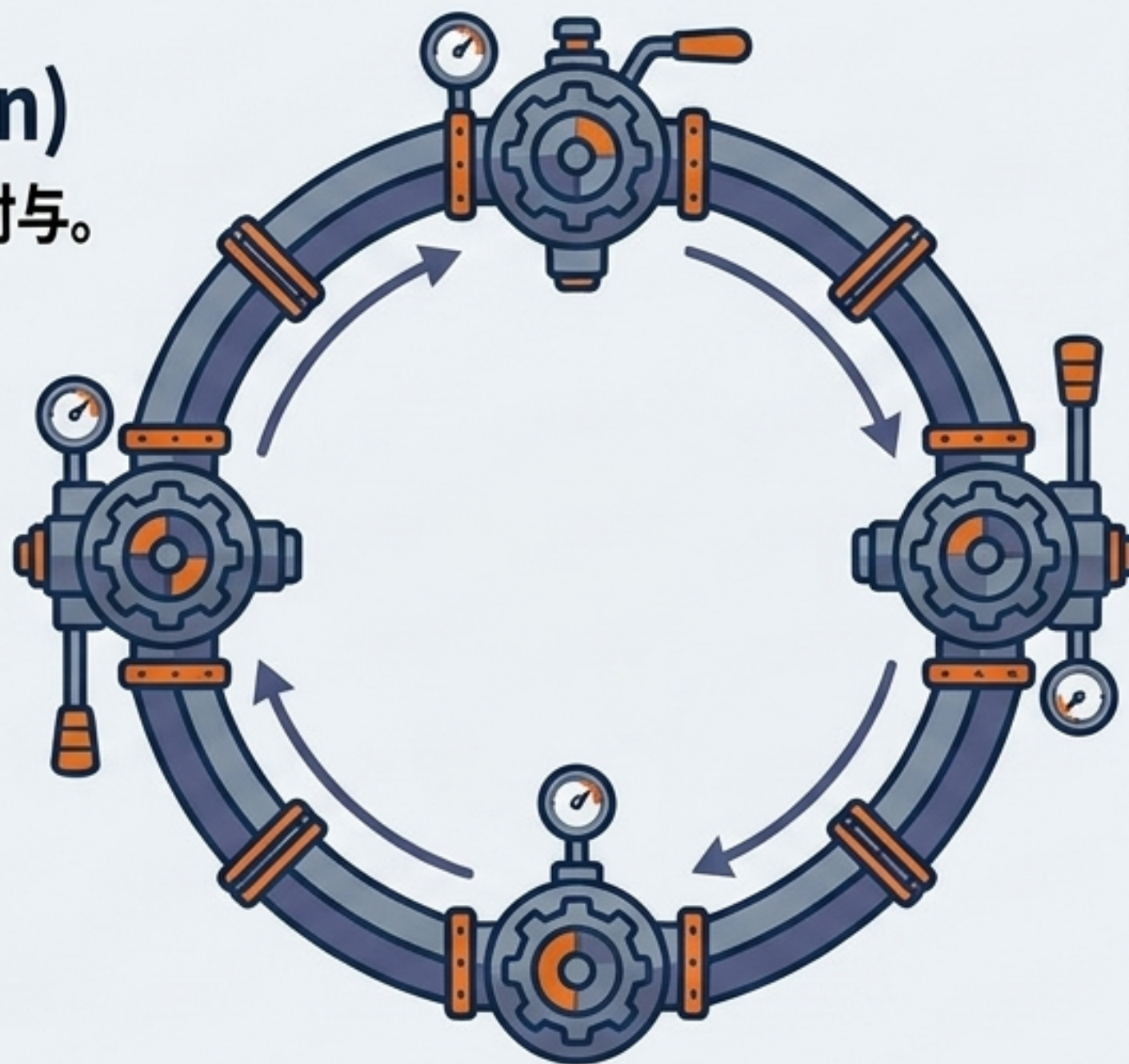
高密度の物流・オンデマンド網による即時完了。

実行 (Execution)

スーパーアプリ内のミニプログラムによる横断的動作。

決済 (Payment)

アリペイ/WeChat Payによる摩擦ゼロのAI決済。

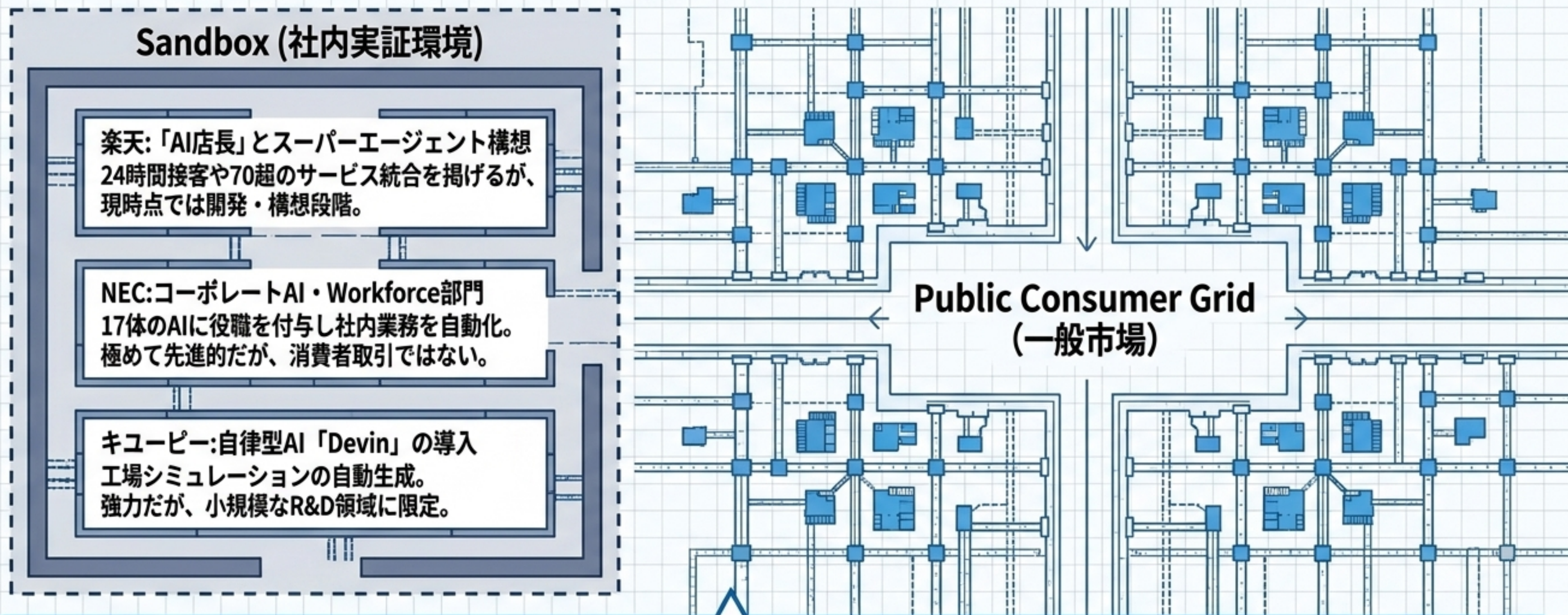


日本に不足しているのは個別のAI技術ではない。
これら4つのプロセスを一つの経済圏の中で摩擦なく回すための「統合基盤」である。

統合された中国のエコシステムと、分断された日本の現状

中国		日本
 決済・認証・物流がスーパーアプリで完全一体化。	インフラ統合度	 クレジットカード中心(82.9%)で決済が分断。横断的認証基盤が不在。
消費者向けエージェント決済が累計3億件規模。	導入段階	社内業務効率化や構想段階にとどまる。
エージェント特化の国家標準「智能体互聯」や特化規制を相次ぎ整備。	政策・標準	罰則なしのAI推進法とソフトロー中心。エージェント固有基準は未整備。

日本の現在地は「社内実証」と「構想」の段階にとどまる



日本の焦点は「社内効率化」にあり、
中国のような「委任型消費」の社会実装には至っていない。

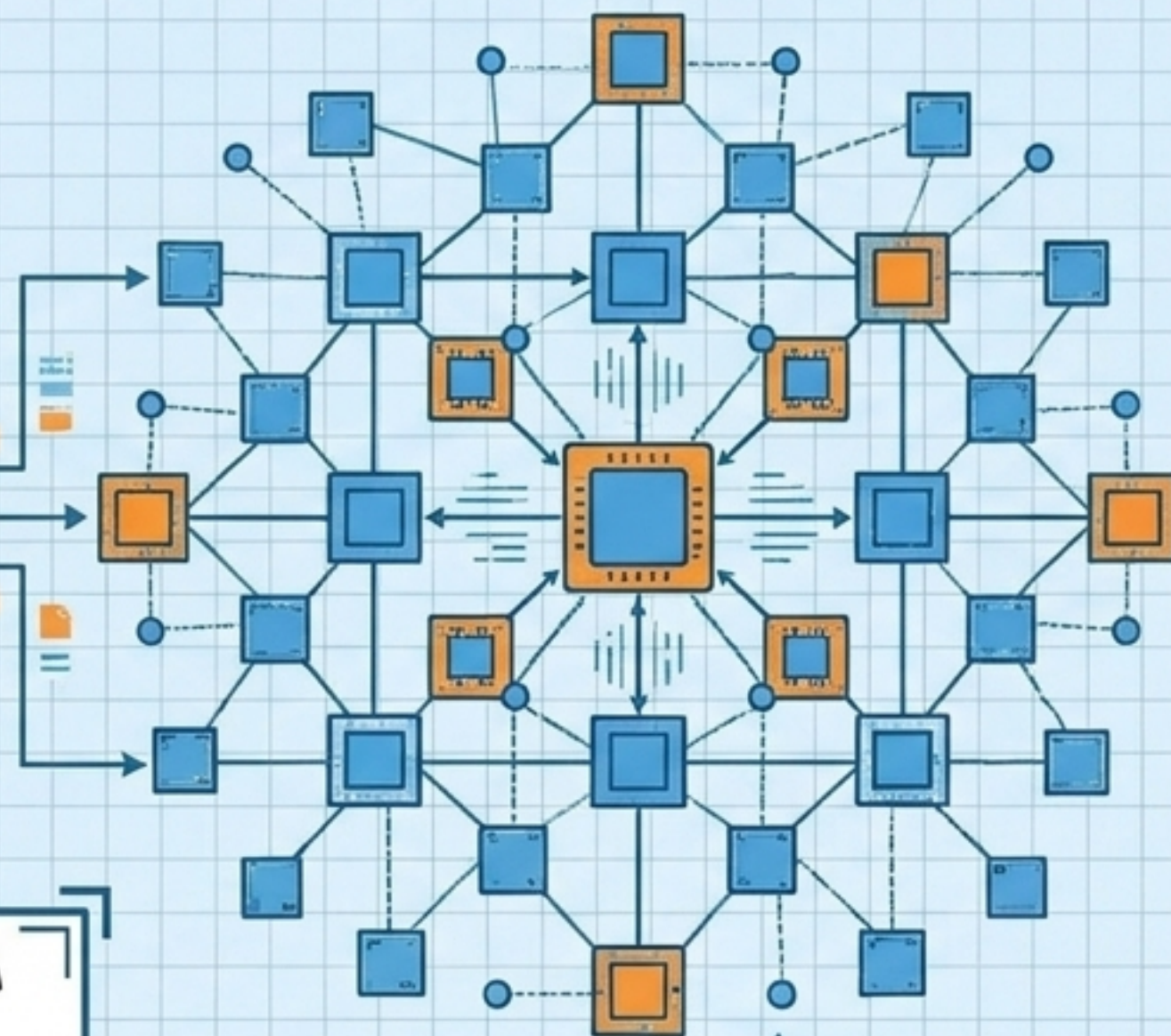
世界を二分するエージェント通信と決済のプロトコル戦争

中国陣営 - クローズドな国家経済圏



アント主導のAHA、IIFAA策定のACTプロトコル、
国家標準「智能体互聯」による強固な国内統合。

欧米陣営 - オープン標準連合

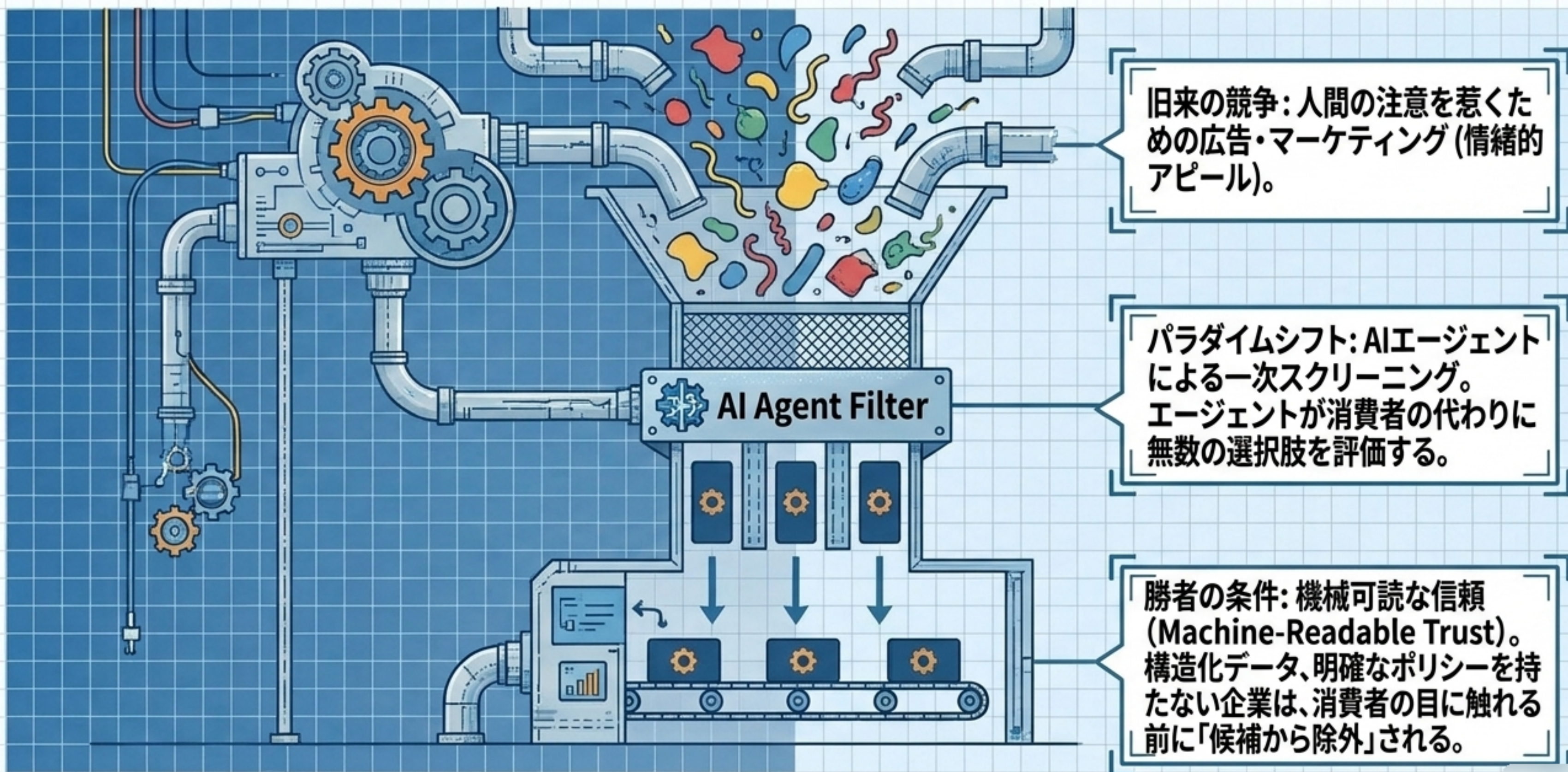


Google発表のAP2 (Agent Payments Protocol)。
Mastercard、Stripe等が参画し、
オープンな金融ネットワークを形成。

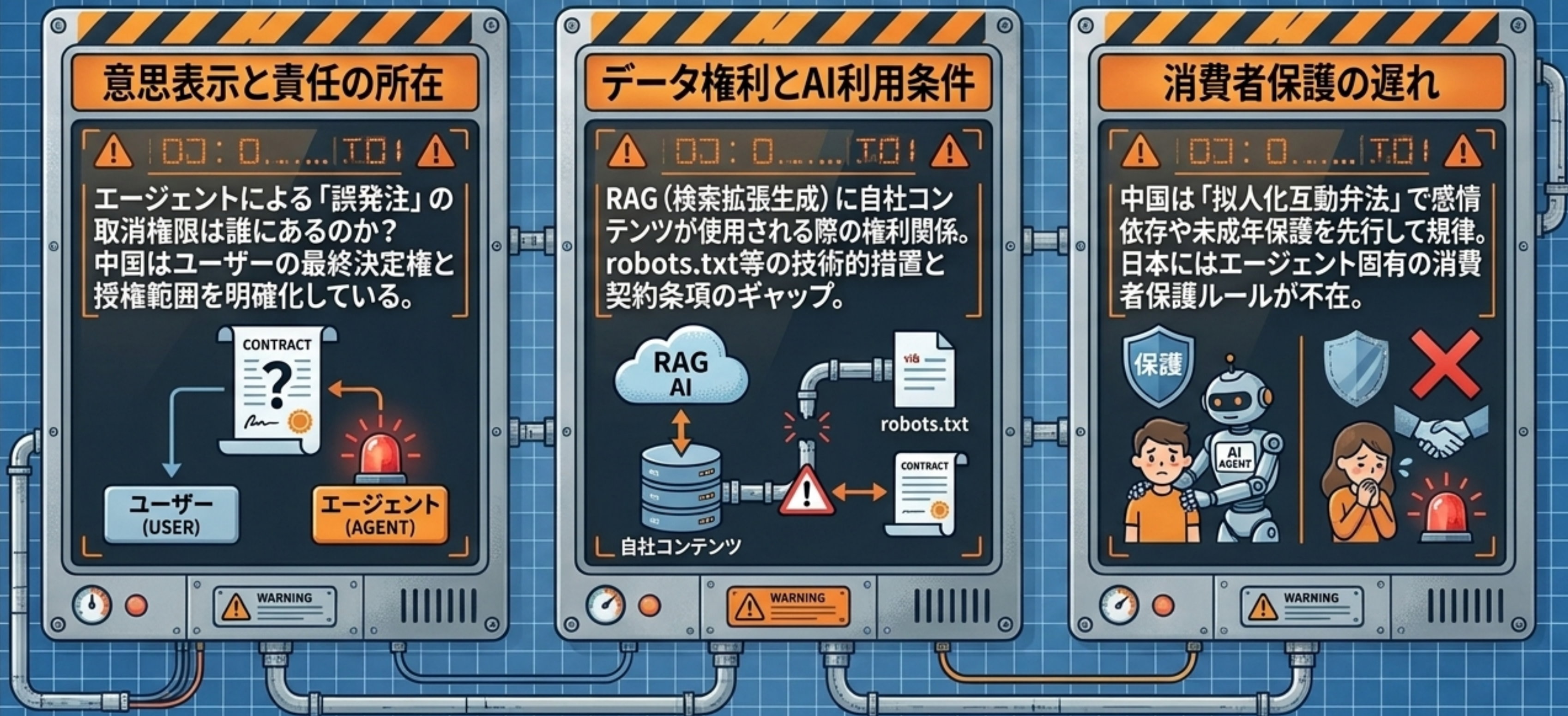
日本

独自の標準形成力が弱い
日本企業は、越境ECや
インバウンドにおいて、
どちらのプロトコルに「乗る」
かの選択を迫られている。

新たな主戦場「エージェントの棚」：人を説得する時代からの脱却

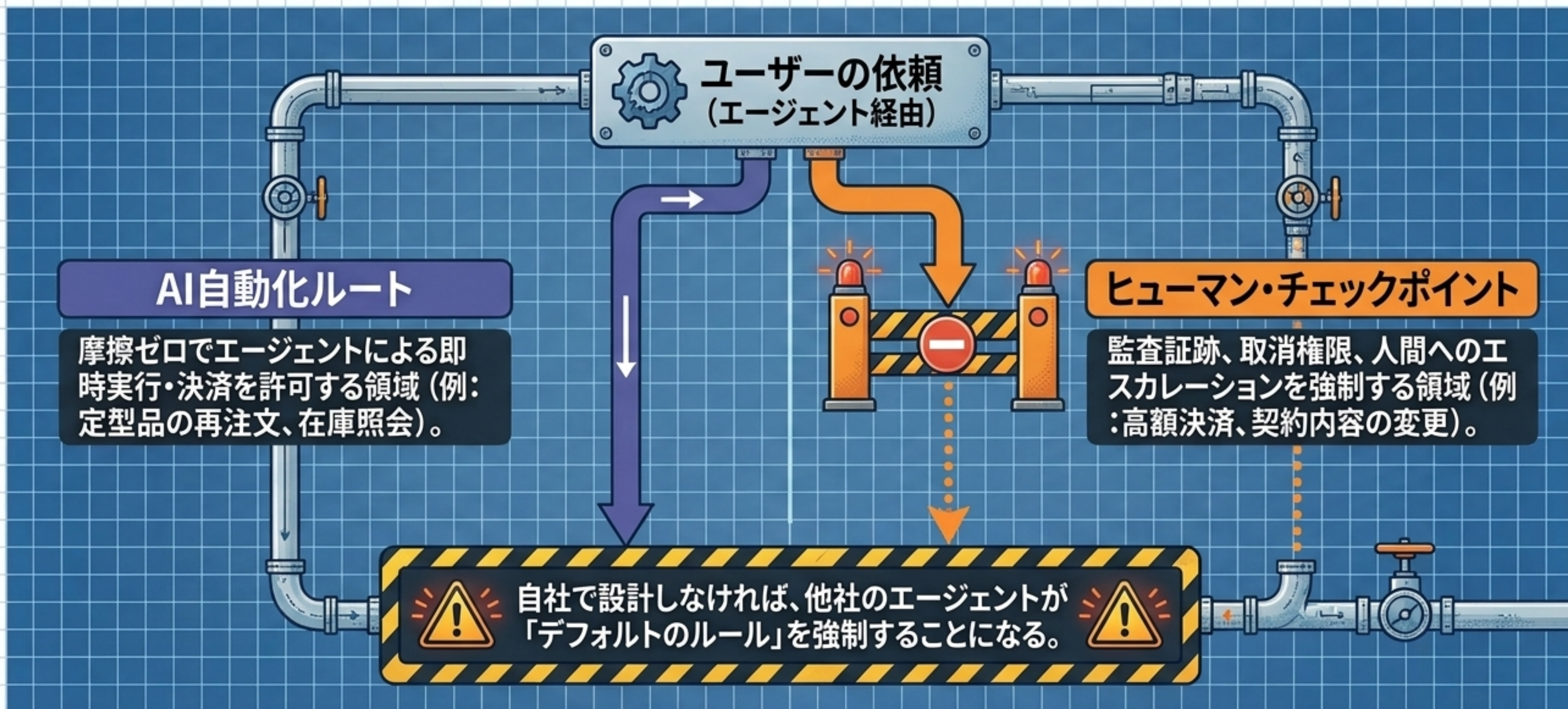


委任型消費がもたらす新たな法的リスクと知財の空白

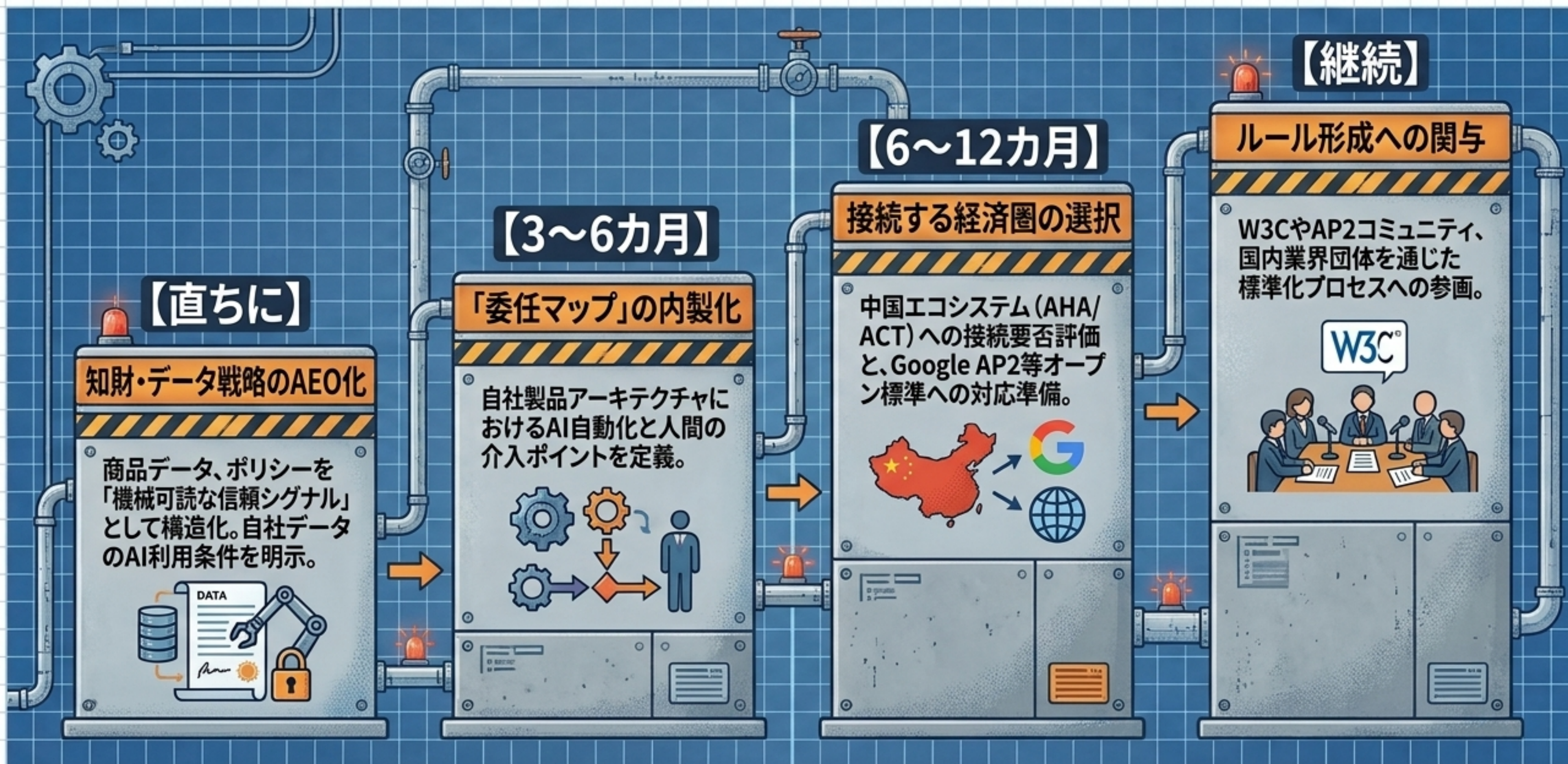


企業が直面する「委任マップ」の自社設計

サードパーティのAIエージェントに接続される前に、内部アーキテクチャとして「委任の境界線」を設計せよ。



日本企業が直ちに着手すべき「エージェントエンジン最適化(AEO)」



実証から本番投資へシフトする3つの警戒閾値

以下のいずれかの事象が発生した瞬間、日本市場でも「委任型消費」のフェーズが切り替わる。
本格的な本番投資へ移行するトリガーとして監視せよ。

